

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぶるーべりー池田		
○保護者評価実施期間	R8年1月4日		R8年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21 (回答者数)	21
○従業者評価実施期間	R8年4月1日		R8年4月17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	R8年5月1日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	立地の良さ(施設傍が大きい公園)	地域の子との交流の機会 粗大運動、リレーや小集団のスポーツ等の取り組み 季節を感じられる野外活動 発散の場や時間の提供	オリエンテーリングや搜索ゲームといった公園ならではの、 公園の広さを活用したプログラムの実施
2	室内に広い運動スペースがあり、天候に左右されず多種に運動 内容を設けられる	スペースがあるので行う事を複数取り組めるため、当人にとつ ての得手不得手を設定しやすく運動や集団での行いやすさを作 る	広いからこそ行える事だけではなく既存のものも大きく扱う事 で捉え方や思考に柔軟性を得ていく
3	2部制にすることでマンツーマン対応	午前午後と利用時間を分けることで職員対応を密に行う 年齢等加味してのグループ分けを行い支援の方向性を統一する	職員のスキルアップのための意見交換や研修の頻度を上げて いく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	部屋数の少なさ(大きな部屋が1つ、小さな部屋が1つ)	施工時に2部屋あればと思ったが使い勝手が良いとは言えない 大は小を兼ねるとはいかなかった	パーティションを使う等大きな部屋を分割する 一人になりたいなどクールダウンが必要な際は事務所を使う
2	男性職員が少なく対応等一手に引き受ける形になることがある	男性への反応が良い児童が居ないわけでは…、一定数居るので 負担を強いられてしまった 男女差を甘く見た	男女比を整えるため元気な男性職員の増員
3	地域交流が出来ていない	新しい人・場所など環境変化が苦手な子がおりの足を踏んで しまう	全体での地域交流と捉えず、通所している園など小規模の交 流から始めていき一人二人と徐々に行っていく